

2017年3月期通期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q1 今期の単価や数量の考え方を教えてください。

- 上期は宅急便取扱個数の伸びは鈍化するものの、増加基調は続きます。交渉や準備期間でもあるため、交渉による総量コントロールなどの様々な施策の効果は下期から出始めると見通しています。
- 社会的なインフラとして、宅急便の事業継続性を担保するために、数量を追うのではなく、適正な利益構造に組み換えていきます。
- 法人のお客様との単価については、現在進めている交渉が一過性のものではなく、燃料費などの外部環境の変化によるコスト変動等を組み込んだ輸配送のオペレーションコストを総合的に反映できるシステムを構築し、適正な契約運賃であるか確認できる環境を整えます。
- 総量のコントロールについては、お客様に対する交渉の状況を慎重に見ながら、状況に応じて手を打っていきます。

Q2 デリバリー事業の適正な利益水準をどのように考えているか教えてください。

- 変化する外部環境によるコスト等を組み込んだシステムで継続的な利益の確保やラストワンマイルの集配効率の向上や再配達削減に向けた取組みを行うなど、適正な利益を重視します。
- ラストワンマイルだけでなく幹線ネットワークの効率化やベースでの省力化・無人化を図るなどネットワーク全体の生産性向上も実現していきます。
- まずは、これまでの利益水準にしっかりと戻し、その先の成長イメージは、今後発表させていただく中期経営計画の中でご説明する予定です。

Q3 宅配ロッカー設置の見通しを教えてください。

- 不在率が高い都市部の住宅密集地に集中的に配置する方針のもと、設置を加速していきます。利用状況をしっかりと確認しながら取組みを進めていきます。

以上